会告

■先端芸術音楽創作学会運営体制

運営委員

事務局
会長：小坂直敏 (東京電機大)
副会長：古川聖 (東京芸大)
広報 (研究会)：寺澤洋子 (筑波大)
広報 (イベント)：有馬純寿 (帝塚山学院大)，柴山拓郎 (東京電機大)
広報 (Web)：喜多敏博 (熊本大)
会計：森威功 (東京芸大)
会報：安藤大地 (首都大)

一般
石井紘美 (英国シティ大), 今井慎太郎 (国立音大),
今堀拓也, 川崎弘二,
中村滋延 (九州大), 西野裕樹 (シンガポール国立大),
沼野雄司 (桐朋学園大),　水野みか子 (名古屋市立大),
高岡明 (玉川大), Cathy Cox(玉川大),
Michael Chinen

在外国メンバー
Mara Helmuth(University of Cincinnati, U.S.A.),
Karen Wissel(Growth in Motion, Inc., U.S.A.),
Mark Battier(Sorbonne, France)

■電子ジャーナルへの投稿を歓迎します

原稿は原稿執筆要領に沿って書いていただき，編集委員まで送付して下さい．また，詳細については編集委員までお問い合わせ下さい．
編集委員：安藤大地 `dandou[at]sd.tmu.ac.jp`

原稿は以下のカテゴリに分類されます．

- 原著論文 研究論文．査読を経て採録されたものが掲載されます．
- 研究報告 研究の予稿．査読はなし．通常の学会の研究会の予稿に相当．
- 会議報告 国際会議等の参加報告．
- 解説 既に知られている重要な技術，概念，研究動向を読者にわかりやすく伝える記事．
- 連載 何回か継続して綴られる原稿．解説や報告などさまざまな区分が個々の原稿にはあるが，全体を連載として区分する．
- インタビュー 作曲家，音楽家へのインタビュー．
- 書評 読者へ紹介したい単行本の感想，評論など．
- 報告 自身のあるいは研究室の活動報告など．
- 作品解説 自作品の哲学，用いているシステム紹介，音楽理論などを作品の中で特筆すべき内容を解説する．プログラムノートを発展させ，より学術的にしたもの．

このほかのカテゴリも必要に応じ，作成したいと考えています．上記に当てはまらないものは編集委員にご相談下さい．

■研究会の参加費について

非会員の場合は研究会参加が有料となりました．参加費500 円を徴収いたします．

■研究会への発表募集

研究会の講演発表を募集します．詳細は別途ご案内いたします．内容は電子ジャーナルの原稿のカテゴリと同等なものです．また，それ以外の話題がありましたら，運営委員までご相談ください．

■第 15 回研究会

日時：2013 年 2 月 23 日（土）　13:20 - 17:00
会場：キャンパスイノベーションセンター東京 5 階 501

プログラム

○ 1 件目
講演タイトル：毛状突起を利用した音楽インターフェイスの提案
発表者：宇野 鷹将（東京工科大学）

○ 2 件目
講演タイトル：ラップトップ音楽作品『Internal Sound Flow』の制作と表現
発表者：中村 隆行，柴山 拓郎（東京電機大学）

○ 3 件目
講演タイトル：オンラインゲーム上の Computer Mediated Communication を用いた多人数参加型音楽制作システムの提案
発表者：牧野 絵里（東京工科大学）

○ 4 件目
講演タイトル：遠隔動作を光と音として表現するサウンドインスタレーションの制作
発表者：早坂 将昭，小坂 直敏（東京電機大学）

○ 5 件目
講演タイトル：反射光を用いた視聴覚に基づく体験によるサウンドアートの提案
発表者：深堀 美紅（東京工科大学）

○ 6 件目
講演タイトル：環境音の 3D 空間上へ表示方法に関する研究
発表者：津田 浩利，小坂 直敏 （東京電機大学）

○ 7 件目
講演タイトル：リュック・フェラーリの電子音響音楽作品《ほとんど何もない第一番》に見る逸話的諸相
発表者：佐藤 亜矢子（東京芸術大学）

○ 8 件目
講演タイトル：現代音楽史を生きた作曲家今史郎、その再評価に向けて
発表者：中村 滋延（九州大学）

編集後記

15 回目の研究会となります．今回は，「卒業・修了研究の発表」というテーマで若い学生による発表が中心となります．また作品創作だけでなく，作曲家研究の発表も二件あり，バラエティに富んでおり，非常に活気のある研究会となります．会場も都心で絶好のアクセスの立地を，研究会主催の熊本大学喜多先生に用意していただきました．ぜひご来場くださりお楽しみください．
(会報編集担当:安藤)